

金沢小学校6年生のみなさんが、茅野市議会を見学に来てくれました。

学級委員長が議長席に座り、本会議のシステムを使って、学級委員会を行い、議会の雰囲気を実感してもらいました（特集頁2）。

写真は、後日届いたお礼のメッセージです。

議場に入った感動などが寄せられています。

茅野市の子どもたちに議会への関心を持ってもらう一助になれたことを嬉しく感じています。

もくじ

- ▶ 金沢小学校議会見学 …………… 2
- ▶ 委員会の審査、本会議討論 …… 3～6
- ▶ 陳情議決結果 …………… 7
- ▶ 議決結果・賛否一覧 …………… 8
- ▶ 一般質問通告一覧 …………… 9～10
- ▶ スポーツ議連結成 …………… 11
- ▶ 永明小中建替え工事現地視察 …… 11
- ▶ 常任委員会活動報告 …………… 12
- ▶ 編集後記 …………… 12

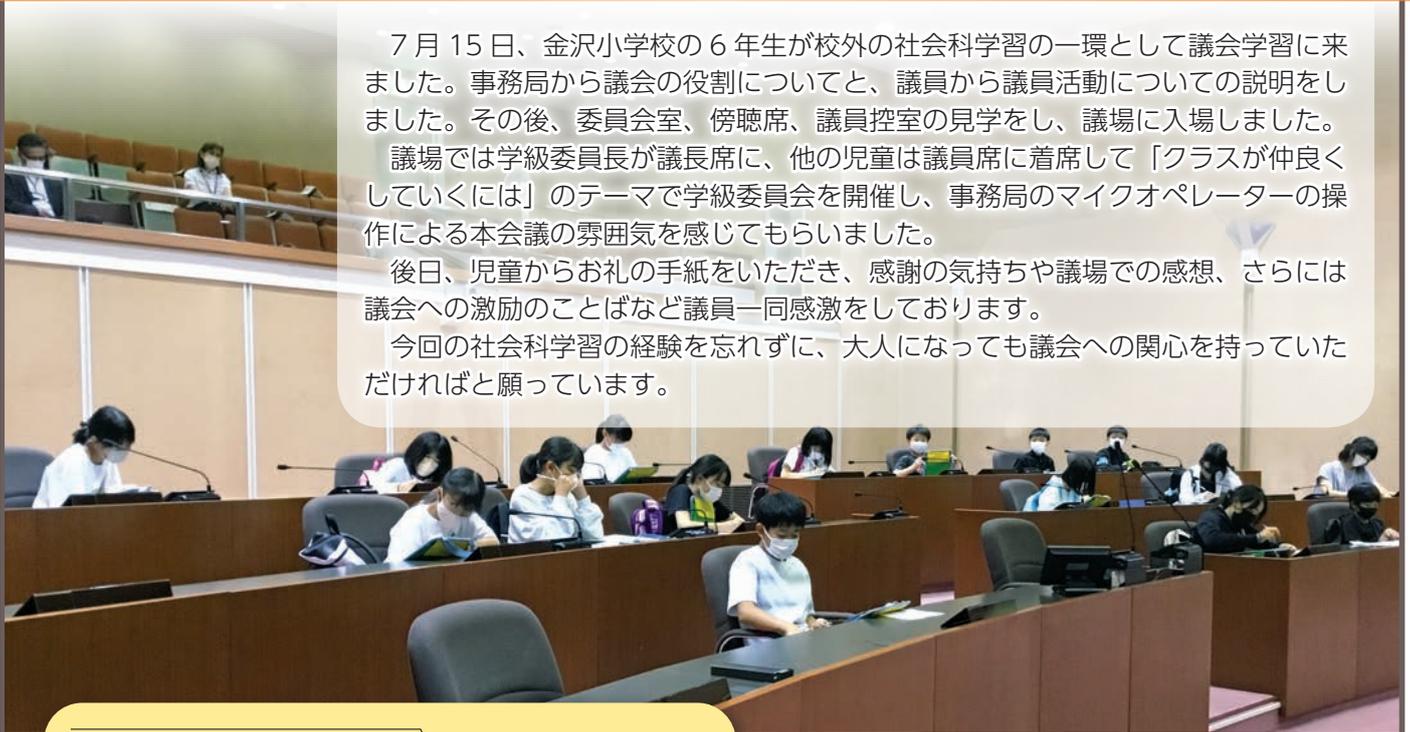
金沢小学校6年生が 茅野市議会見学に来てくれました

7月15日、金沢小学校の6年生が校外の社会科学習の一環として議会学習に来ました。事務局から議会の役割についてと、議員から議員活動についての説明をしました。その後、委員会室、傍聴席、議員控室の見学をし、議場に入場しました。

議場では学級委員長が議長席に、他の児童は議員席に着席して「クラスが仲良くしていくには」のテーマで学級委員会を開催し、事務局のマイクオペレーターの手による本会議の雰囲気を感じてもらいました。

後日、児童からお礼の手紙をいただき、感謝の気持ちや議場での感想、さらには議会への激励のことばなど議員一同感激しております。

今回の社会科学習の経験を忘れずに、大人になっても議会への関心を持っていただければと願っています。



市議会議場見学を させていただいて

金沢小学校 6年担任
両角孝之

茅野市の子育て支援について学ぶ中で「その予算の使い道は誰がどのように決めているんだろう」そんな疑問が子どもたちから生まれ、茅野市議会の見学をさせていただきました。議場で実際に学級会を行ったことで、議員さんが市民の願いを受け、責任をもって大事な税金の使い道を考えていることを実感することができたように思います。修学旅行では国会議事堂に行く予定です。今回の体験を基に、国会と市議会の様子を比較し、その共通点や相違点に着目しながら、自分たちの声がどのように政治に反映されていくのか学びを深めていきたいと思っています。



令和4年9月定例会のあらまし

茅野市議会9月定例会は、8月29日（月）から9月22日（木）までの会期で開催。補正予算、令和3年度一般会計等歳入歳出決算の認定や市道路線の認定、人事案件など議案22件、諮問1件を審議し、いずれも原案どおり可決、承認、認定、同意しました。また国などに意見書をあげてほしいとの内容の陳情4件を審議し、3件を趣旨採択、1件を不採択としました。また議員提案による意見書案1件については否決となりました。各議案の一覧及び議決結果は、8ページをご覧ください。



② ○青少年自然の森管理運営費で、体験学習旅行の誘致を進めるにあたり、青少年自然の森の衛生環境を改善するため、宿泊棟、管理棟等のトイレの洋式化及び宿泊棟へのシャワー室設置に係る工事費1,852万7千円

議案第49号
令和3年度茅野市
一般会計歳入歳出決算の認定について



令和3年度の歳入決算額は、300億3,813万8,253円、歳出決算額は、283億5,976万6,819円で、歳入歳出差引残額は、16億7,837万1,434円となり、翌年度へ繰り越すべき財源1億7,743万3千円を差し引き、実質収支額は、15億93万8,434円となりました。

反対討論

会計年度任用職員への待遇は、改善とは言えず、結果的に給与となる報酬は増とになっていない、マイナンバーカードを使った住民票等のコンビニ交付については、1件当たり約2千円の支出を続けている。費用対効果の面で同意できない。費用をかけた地域公共交通の「のらびあ」でも不具合が出ている、事務事業評価もいつの間にか縮小されているが、そのことが知らされていない。こうしたことから認定には反対である。

賛成討論

コロナ禍における市民の暮らしと経済を守るため、国の交付金等を活用し、新型コロナウイルス感染症への対策が実施され、市民の生活を守る、地域の社会経済活動を進める、という市の姿勢がうかがわれた決算である。地域社会の明るい未来の実現のために、健全財政を維持しつつ、必要な投資が市民のため、また民意を反映したより良い施策のために講じられることを期待して認定に賛成である。

本会議における討論

反対討論

会計年度任用職員（事務職員）の一人一日当たりの報

①
委員会に付託された主な議案

予算決算委員会

委員長 小尾 一郎

議案第47号
令和4年度茅野市
一般会計補正予算（第5号）について



2億537万4千円を追加し、歳入歳出それぞれ292億7,122万3千円とするもの。

主な補正内容

- 茅野市における地域DX推進に係る、「都市OS・ネットワーク等構築事業」の円滑な実施のため、国の制度を利用して専門家の派遣を受けるための報償金として1,962万8千円
- マイナンバーカードの取得を促進するための発行体制を拡充する経費及び市内大型店舗での出張申請時の補助業務を委託する経費として、需用費ほか1,672万2千円
- ちの観光まちづくり推進機構(DMO)が国の「既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業補助金」を活用して実施する「茅野駅観光案内所改修工事」及び「ヤマウラスティ古民家改修工事」について、国の補助金を除いた額を補助する経費として補助金1,140万円
- 下水道事業会計繰出金では、下水道事業会計内で起債をするより、一般会計から下水道事業会計に繰出しをし、その繰出しに対して起債を充当したほうが、有利な起債を借りることができることから、繰出金として8,000万円
- 小学校給食関連費で、原油価格・物価高騰の影響で小学校の給食材料費が高騰している中、保護者の負担が増加しないように、給食費を維持したまま給食の質を確保するため、各小学校の給食費会計への補助金、957万5千円

④

答 変更価格の算定は、当初設計と同様の方法で、基準日時点の単価を反映したもので、妥当な金額と考えている。変更額の算定については、市が指定した方法で行っている。算定の結果、受注者の請求額から800万円余の金額が減額となっている。物価の変動があるので、今後、他の工事でもスライド条項適用の申出があると想像をしている。

問 資料の積算は、元資料は市が指定したもののだが、どのような単価表なのか。また受注者が積算で求めたものは発注者と違う資料でも、変更金額は発注者の資料に基づいていることは受注者も納得しているという理解でよいのか。

答 建築施工単価、建築コスト情報、建設物価積算資料等を使用している。当初設計と同様、単価×数量で計算をして金額を出している。

議案第 46 号

茅野市職員の育児休業等 全会一致で **可決**
 に関する条例の一部を改正する条例について

問 会計年度任用職員は、契約任期以降も育児休業を取得する場合、現在の任期が延長されないことが確定されていないという書き方がされているが、任期満了で必ず契約を終了するわけではないということが担保となるという判断になるのか。

答 会計年度任用職員は、通常子どもが1歳まで育児休業がとれる。復帰する意思があり、かつ採用側もその時に採用する予定がある。そこを両方で確認した上で、そういった措置をとっている。

問 任期満了後はもう絶対契約しない、と言い切っているわけではないということによろしいか。

答 仮に3月31日を任期末として、それ以降も育児休業が継続する場合は4月1日で再度任用通知書を出す。子が1歳の時の復職と任用を約束した方のみでそれ以外の方は任用終了となる。

経済建設委員会

委員長 机 博文

議案第 40 号

市道路線の認定について 全会一致で **可決**
 (ちの上原地籍)

問 道路の真ん中に広い部分があるが、なぜこのような形状で造られるのか。

答 茅野市市道認定基準等に関する要綱第4条の規定で、袋小路になる場合



③

酬は下がっている。要因は勤務時間の短縮にある。賃金の減少は働く意欲の低下につながり、大きな問題。「のらぎあ」を運行するための公共交通システム構築について、令和2年度に構築したシステムがベースにあり、令和3年度分は拡張分を追加すればよく、令和3年度も令和2年度同様、構築費用を支払っていることに不透明さを感じるため反対。(伊藤正陽)

賛成討論

前年度から続く新型コロナウイルス感染症への対策に加え、災害にも見舞われた令和3年度だった。こうした激しい変動があった中で、社会経済活動をいかに停滞させないか、市民の生命・暮らしをどう守るかにおいて、短期的・長期的施策をバランス良く取られ、17回の補正予算を編成し、適切に図られた決算であったと考える。よって令和3年度茅野市一般会計決算の認定に賛成。(両角実晃)

総務環境委員会

委員長 矢島 正恒

議案第 39 号

令和3年度永明小中学校 全会一致で **可決**
 校舎建設建築主体工事の変更請負契約について

問 工期終了まで1年以上あるが、再度物価変動や工期延長があった場合は、契約変更があるか。

答 条項に基づき、再度契約内容を見直すこともある。工期についても同じである。

問 変更契約にかかる、履行確認はどのような処理をするのか。

答 現在の出来高を確認する。

問 下請けにもお金を流そうということが言われている。その確認は、発注者側に求められていないか。

答 不当に低い請負代金は、建設業法で禁止されている。国は、県と建設業界に、元請と下請の契約に一方的な代金の差引きと不当な取扱いをしないよう通知を出し、県も相談窓口を設けている。市も財政課窓口で、国や県の相談窓口の周知をしている。また建設業界の代表者と定期的な意見交換や、協議の場で随時周知、徹底のお願いをしている。

問 今回のスライド条項は、今後の工事について1%を超える分の請求だが、妥当性をどのようにはかり、どのぐらい減額ができたか。また設計及び監理業務等も入れてのことか。他の電気工事、設備機械工事の今後の動向等についてはどうか。

⑥

ではこれから先もわからない。来年から始まってもしきなり全額納付ではなく80%控除できる。向こう3年間は20%でよく、そういうことを考えれば救済措置的な部分は設けてあり、粛々と進めればよいので、反対。

賛成討論

○中小企業者は、実務が大変な状況。システム改修が必要な場合も予想され、経費的にも負担になる。また、今のこのタイミングがよろしくない。このインボイス制度で追い打ちをかけるような状況になりかねないため、賛成。

本会議における討論

反対討論

消費税は、社会保障のために必要な財源。導入されるインボイス制度は、標準税率と軽減税率という複数税率の下で、売手が買手に対し、正確な適用税率等を伝えるものであり、適正な課税を確保するために必要な制度。その円滑な導入を図る観点から免税事業者も含めた事業者の準備のために、軽減税率の実施から10年間の十分な経過措置を設けている。(長田近夫)

免税事業者によっては、消費者から預かった消費税を国に払っていない事業者もいる。払っている事業者もいるので税の公平性が担保されているとは言えない。このインボイス制度はそれを解消するため。経過措置として激変緩和措置も行われている。円安や物価高の対策はしっかりと別に行うのが妥当。よって不採択。(吉田基之)

賛成討論

インボイスは、中小企業や個人事業主、一人親方、シルバー人材センターへの影響は多大なものがある。財務省の試算によれば、小規模・個人事業主1者(社)15万4千円と試算。想定事業者は、売上550万円。粗利益150万円。取引上の力関係で価格に転嫁できないと見込まれる事業者は、2019年の日本商工会議所の調査によれば、1,000万円以下の事業者の44%。現在の納税事業者にとっても、消費税は圧倒的に滞納が多い税金、2018年度新規滞納額の約59%と単独過半数を超える。今後もインボイス対応のレジへの入替え、事務システム変更、事務の煩雑化等で負担増だが、支援はない。導入は年末の税制会議で決まるので、今地方から声を上げることが重要。(望月克治)

陳情 12

燃油・肥料・飼料高騰

対策の支援策実現に関する陳情

全会一致で



⑤

には転回広場が設けられていることと定められている。

議案第 41 号

市道路線の認定について
(宮川両久保地籍)

全会一致で



問

道路地番が2つ存在しているが、なぜか

答

T字の道路を、入口から市街地側にL字になった部分と、八ヶ岳寄りの部分の2路線になり、起点と終点が違うので、それぞれ現在分譲されている地番で表記した。

議案第 42 号

市道路線の認定について
(宮川両久保地籍)

全会一致で



問

隅切りを両側に取らなければ、市道認定がされないのか。本案件のように片方しか取れない場合は、どのような形態になるのか。

答

三角の隅切り部分は、両側に設置してもらうように市から指示している。片方しか取れない場合には、道路の中心線を開発土地側に120度振ってもらうことで隅切りを両方に設けてもらっている。

陳情 11

消費税の事務に付加される適格請求書

等保存方式(インボイス)の導入を延期するよう国に対する意見書の提出を求める陳情



委員会での意見 (採択)

- 制度施行で中小企業者は、かなりダメージを受ける。やめろということではなく、延期せよという陳情者の意を酌んで採択。
- コロナ禍で生活や仕事が大変な中、事業者がインボイス制度に取り組むのは時期的に大変なので、採択。

委員会での意見 (不採択)

- 免税事業者も消費税を預かっているのであればしっかり納めた方がいいので、不採択。
- 軽減税率が始まった令和元年から10年間かけて移行する制度。商工会議所でも説明会や研修等行っている。軽減税率が始まり、こういう制度になるというのはもう決まったことなので、不採択。
- お客様から消費税を徴収してもそれを国に納めていない方も多くいると聞く。真面目に納めている方がいる以上、公平な税にしないといけない。施行まで1年あり、周知期間もあるので、不採択。

反対討論

- 例えば、1年2年延ばしてみても今の混沌とした情勢

⑧

福祉教育委員会

委員長 野沢 明夫

議案第 43 号

公の施設の指定管理者の
指定について（茅野市民館）

全会一致で 

問 一社だけの応募申請の背景は。

答 単なる文化施設の施設管理にとどまらず、設立の経過や市民と協働で文化交流を担う複合的な特殊性により、手を上げづらいと推察される。

問 市民館運営に関し、まちライブラリー、ワークラボ八ヶ岳、地区コミュニティセンターとの連携・交流を求める意見や、使いづらいとか、冷たい感じを持つ市民意見もあるが対応は。

答 市民館職員教育の中で対応し、さらに積極的に地域へ出ていき、文化発信をしていくことを求めている。

議案第 58 号

茅野市体育練成館条例を
廃止する条例について

全会一致で 

問 練成館利用者の代替施設や移行期の対応は。

答 ちの地区コミュニティセンター体育館の半分を改修し、常設の柔剣道場として使用する。移行期間は学校施設や公民館での対応をする。

問 今回の変更について他団体への影響への配慮は。

答 利用者への説明会等、丁寧な説明に努めている。

⑦

委員会での意見

- 農業者は、経費のわりに売上金額は伸びないので、他業種とのバランスを考え実現をしてほしいと考え、採択。
- 農業者が安定的に農業生産を営めるよう、市にもお金を出してもらおうと共に、農協には生産者の方々をしっかりと支援し、茅野市の農業、日本の農業を守って欲しいという思いを込めて、採択。
- 具体的に茅野市としてどういう支援ができるのかを考えた方がいい。他業種も大変な状況にあり、趣旨は理解できるということで趣旨採択。

陳情 13

水田活用の直接支払い
交付金見直しに関する陳情

全会一致で 

委員会での意見

- 本年3月の定例会で採択され、6月定例会で意見書を提出しており、ほぼ同じ内容である。趣旨は理解できるので趣旨採択。

陳情 14

食肉処理施設の整備に
関する陳情

全会一致で 

委員会での意見

- 農協が積極的に動くという部分が見えてこない。意見書の「行政による極めて公設に近い形で施設整備を求める」というところが引っかかる。趣旨は理解できるので趣旨採択。

本会議における議案の審議

議員提案による意見書

議第 8 号

意見書案の提出について（適格請求書等保存方式（インボイス）の導入前に、
制度対応費用の補助と免税事業者の不利益回避の手立てを整えることを求める）



この意見書案は、インボイス制度導入にあたり必要となる事務費などの補助や、免税対象者が取引を継続できる手立て等の法の整備が整うまでインボイス制度の実施を見送ることを国に求めるもの。

反対討論

この意見書の提出に反対します。理由は「零細事業者」という法的根拠のない曖昧な記述がされていること。次に「取引先との力関係」のところですが、もしあるとすれば、消費税分の転嫁以前の価格の問題かと思い、理解できません。また「財務省の試算」は、この意見書を先ほど議場に入って初めて目にしたため数字に正確性を確認できませんでした。

⑨

最後に「実施の見送りを求める」とありますが、この定例会の陳情で「インボイス導入の実施の延期」に反対した立場からも賛成はできないため反対とする。(東城源)

賛成討論

消費税は社会保障に使われるというが、ただ大企業の減税の穴埋めをしているだけで、誰一人として社会保障が充実したと感じていない。国をあげてコロナ禍で、中小零細企業を支援している中、水を差すようなインボイスには反対。よって延期に賛成とする。(伊藤勝)

令和4年9月定例会 陳情 議決結果

番号	表題	趣旨	提出者	採決結果	
				委員会	本会議
陳情 11	消費税の事務に付加される適格請求書等保存方式(インボイス)の導入を延期するよう国に対する意見書の提出を求める陳情	令和5年10月から開始される消費税の適格請求書等保存方式、略称インボイス制度をめぐって、周知が不十分であることから社会的混乱が予想されるとして、消費税のインボイス制度の実施は当面延期することを国に対し意見書として提出することを求めるもの。	諏訪地方民主商工会	不採択	不採択
陳情 12	燃油・肥料・飼料高騰対策の支援策実現に関する陳情	ロシアによるウクライナ侵攻の影響、中国の輸出規制の強化、コロナ禍による経済活動の停滞により、肥料や資材、飼料などの価格が高騰し、農家経営は大変厳しい状況になっているとして、市町村独自の燃油・肥料・飼料価格の高騰対策としての支援策の実現を求めるもの。	信州諏訪農業協同組合ほか1団体	趣旨採択	★1 趣旨採択
陳情 13	水田活用の直接支払い交付金見直しに関する陳情	農業者が安定的に農業を営むことができるよう、水田活用の直接支払交付金の交付対象要件については、今後5年間の利用状況を確認することとしているが、中山間地域の実情等考慮した運用とすること、水田活用の直接支払交付金とは切り離れた再生産価格を考慮した新たな公的助成を設けることを国に意見書として提出することを求めるもの。	信州諏訪農業協同組合ほか1団体	趣旨採択	趣旨採択
陳情 14	食肉処理施設の整備に関する陳情	JAグループを中心に運営している株式会社長野県食肉公社の松本市有地に立地する食肉処理施設が、松本市から土地の返還を求められており、早い段階での移転が必要になっていることから、代替候補地については、県が設置する検討会の場で選定を進めていくことになっているが、早期選定に努めること、移転先住民との合意形成には、行政との連携が不可欠であるため、協力を要請すること、食肉処理施設は、公共性の高いインフラであることから、行政による極めて公設に近い形による施設整備を求めることを県に意見書として提出することを求めるもの。	信州諏訪農業協同組合ほか1団体	趣旨採択	趣旨採択

ことばの豆知識

- ★1 **趣旨採択** 要望した内容をそのまま認めることは困難でも、趣旨や目的は妥当と認められるもの
- ★2 **議場配布** 茅野市の行政および市民生活に直接・具体的に利害が及ばない事項を願意としている等の陳情は、委員会に付託せず議場で議員に配布している

9月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧及び報告

付託委員会 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算
 ○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。

番号	件名	付託委員会	議決結果	両角 実晃	木村 かほり	吉田 基之	竹内 巧	伊藤 正博	机 博文	東城 源	木村 明美	小尾 一郎	矢島 正恒	伊藤 勝	長田 近夫	伊藤 正陽	伊藤 玲子	野沢 明夫	望月 克治	松山 孝志
市長提案	38 令和4年度茅野市一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	44 茅野市等公平委員会委員選任の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	45 茅野市教育委員会委員任命の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	39 令和3年度永明小中学校校舎建設建築主体工事の変更請負契約について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	40 市道路線の認定について(ちの上原地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	41 市道路線の認定について(宮川両久保地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	42 市道路線の認定について(玉川山田地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	43 公の施設の指定管理者の指定について(茅野市民館)	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	46 茅野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	58 茅野市体育練成館条例を廃止する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	47 令和4年度茅野市一般会計補正予算(第5号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	48 令和4年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	49 令和3年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	●
	50 令和3年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	51 令和3年度茅野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	52 令和3年度茅野市国民健康保険診療所特別会計決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	53 令和3年度茅野市水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	54 令和3年度茅野市下水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	55 令和3年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56 令和3年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
57 令和3年度茅野市泉野大日影財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
59 茅野市教育長任命の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問	1 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	10 中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情		*2 議場配布																	
	11 消費税の事務に付加される適格請求書等保存方式(インボイス)の導入を延期するよう国に対する意見書の提出を求める陳情	経	不採択	●	○	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○
	12 燃油・肥料・飼料高騰対策の支援策実現に関する陳情	経	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13 水田活用の直接支払い交付金見直しに関する陳情	経	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14 食肉処理施設の整備に関する陳情	経	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案提出議案	8 意見書案の提出について(適格請求書等保存方式(インボイス)の導入前に、制度対応費用の補助と免税事業者の不利益回避の手立てを整えることを求める)		否決	●	○	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	●
報告	8 専決処分の報告について																			
	9 債権放棄の報告について																			
	10 令和3年度健全化判断比率及び資金不足比率について																			
	11 株式会社ベルビアの経営状況について																			

議決日は、9月22日の議会最終日(ただし、議案第38、44、45号と諮問第1号は8月29日の開会日に即決)

茅野市の課題を問う!

茅野市ホームページから一般質問の録画映像がご覧いただけます。また、同ホームページの『会議録検索システム』で会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

9月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
矢島正恒	1 第6次茅野市総合計画の策定に向けた各種取組について	(1) ハヶ岳西麓市町村のワイン用ぶどうの栽培における、県の地域計画と連動させた積極的な取組について (2) 茅野市 DMO のハヶ岳西麓地域と連携した広域的な取組について (3) 脱炭素社会(ゼロカーボン)に向けての今年度の取組状況と目指す姿について (4) 子育て世代移住者の子どもの通学環境について (5) 別荘地内定住者に対する防災情報等の提供について
野沢明夫	2 市職員の相談と対応について	(1) 悩みや不調による休職者の状況は (2) 相談体制の現状及び対応策は (3) 今後の人事配置や職場環境の改善策はあるか
	3 景観づくり条例の色彩規制について	(1) 色彩規制の効果はあるか、また判断する基準は何か (2) 未届け施工者など施工に関する問題点、課題、苦情はあるか (3) 色彩規制の見直しの考えはあるか
吉田基之	4 主権者教育について	(1) 小中学校の主権者教育の基本的考え方と取組について
	5 地域通貨・地域ポイントについて	(1) 地域通貨・地域ポイントの進捗状況について (2) DX 基本計画の中ではどう展開していくのか
机博文	6 茅野市消防団総合計画策定に向けての状況について	(1) 消防団総合計画の進捗状況について (2) 部の再編と団員定数について (3) 団員の負担軽減と行政区の経費削減について (4) 団員報酬と手当について (5) 今後の進め方(スケジュール)について
	7 特定健診の実施状況について	(1) 受診率の現状について (2) 受診率向上に向けた取組について
伊藤玲子	8 困難を抱えた子ども・若者の支援について	(1) 困難を抱えた子ども・若者支援の取組について (2) 未来を担う子ども・若者の自主性を育てるためのサポートについて
木村明美	9 マイナンバーカードの利活用について	(1) 茅野市におけるマイナンバーカードの取得状況について (2) 安全性の確保について (3) マイナンバーカードで出来る茅野市独自のサービスについて
	10 茅野駅西口周辺整備について	(1) 茅野駅西口駅前広場リニューアル基本計画に基づく周辺整備の進捗状況について (2) 9月21日から実施する社会実験について (3) 駅周辺の賑わい創出の考え方について
竹内巧	11 限られた人的資源を活かした行政運営について	(1) 正確な業務遂行に向けた取組について (2) 業務の連続性の確保について (3) 定型業務での事務処理マニュアルの活用について (4) 組織力や職員力を高める方策について (5) 「職場風土」の醸成について
東城源	12 消防団員の負担軽減について	(1) 消防団総合計画はいつ施行するのか明確な説明を (2) 消防団の指揮命令系統は確立されているか (3) 消防団と自主防災組織の役割、活動は
長田近夫	13 学校施設の ZEB 化の推進について	(1) エコスクール実施校の「省エネ効果」「教育効果」について (2) 今後の取組について
	14 認知症施策について	(1) 市の現状について (2) 「認知症初期集中支援チーム」について (3) 認知症の人や家族に対する相談、生活支援について

9月定例会一般質問通告一覧（つづき）

	件名	要旨
伊藤正陽	15 安倍元首相の「国葬」実施で生じる諸問題について	(1) 安倍元首相の国葬に関し、政府からの指示、要請、お願いなどはあったのか。あれば、それは何か (2) 政府からの指示、要請、お願いなどがあった場合の市及び教育委員会の対応について (3) 安倍元首相の「実績」をどうとらえ、国葬の理由を市民、児童・生徒に伝えるか (4) 国葬を実施した場合の市の配慮すべきことは
	16 子ども（18歳まで）の医療費完全無料化について	(1) 医療費に関して、慢性疾患を患っている子どもを持つ親の声をどう受け止めているか (2) 18歳まで無料化したときの財政負担と実施の方向性について (3) レセプト代無料について (4) 「子育て支援充実の茅野市」の発信について
伊藤勝	17 茅野市消防団総合計画について	(1) 先延ばしする主な理由は (2) 計画案には「機能消防」が明記されていないがなぜか (3) 計画案の見直しはあるのか、また見直しの手順は
	18 新地域公共交通について	(1) 「のらざあ」の料金はどのように決められたのか (2) 乗降場所 8,000 箇所の考え方は (3) 運行後の不具合箇所の改善はどのようにするのか (4) 路線バスの運行エリア（蓼科等観光地）を「のらざあ」の運行範囲から除外した理由は (5) 継続する路線バスに対しての市の関わりは
両角実晃	19 資源物分別収集の見直しについて	(1) 現状と課題について (2) 見直しの考え方について (3) 今後の進め方について
	20 地域活性化に向けた公民館活動の取組について	(1) 中央公民館・地区公民館・分館のそれぞれの役割と連携について (2) 学びと自治の実践の拠点となる公民館活動の現状について (3) 地域を活性化させるための公民館活動について
望月克治	21 「スワコエイトピークスミドルトライアスロン大会 2022」の市民への影響について	(1) 計画段階から市民生活への影響についての議論をしてきたか (2) 競技当日の茅野市の対応・体制はどのようなものだったか (3) 市民からの意見は寄せられているか
	22 新型コロナウイルス感染症と諸物価高騰に対する福祉施設への支援について	(1) 新型コロナウイルス感染症の拡大に対応した支援はなされているか (2) 諸物価高騰に対する支援はなされているか
	23 デジタル田園健康特区の現状について	(1) 計画の推進体制として示されているデジタル田園健康特区特別区域会議（仮称）の開催はされたか (2) 茅野市の提案を実施するための内閣府との協議は進んでいるか (3) 市民への説明と意見を聞く場は設けられたか
伊藤正博	24 街路樹等の選定と管理について	(1) 緑化マニュアルについて (2) 景観形成緑化推進部会について (3) 現状の課題について (4) 今後の方針について
	25 諏訪湖浄化について	(1) 「諏訪湖創生ビジョン」との連携について (2) 6市町村の連携について (3) 諏訪湖浄化に関する SDGs の具体化の取組について
木村かほり	26 災害時のトイレ対策について	(1) 災害時に使えるトイレについて (2) 市の備蓄や準備について (3) 各家庭での備蓄や準備について
	27 各家庭での備蓄や準備について	(1) 子ども・家庭の支援施策の評価と検証の現状について (2) 専門家、利用者、市民及び第三者の評価と検証への参加について (3) 評価と検証に子どもが参加するための取組について

市議会に**新しい議員連盟**が出来ました

～スポーツ振興議連～

この度、茅野市における体育・スポーツの振興に資することを目的に、茅野市議会スポーツ振興議連を立ち上げました。活動内容は振興に必要な調査研究、また各種団体からの意見集約・支援等を行います。

近々の課題として、一つ目は運動公園長寿命化に向けた取組について。もう一つは学校部活動の地域移行計画に向けた取組について。調査研究し茅野市らしい形を検討し提言していきたいと思っております。



左から 東城 源 吉田基之 両角実晃 (代表)
机 博文 矢島正恒 小尾一郎 竹内 巧

永明小・中学校**建て替え現場**を視察しました



現場事務所にて進捗状況の説明を受ける

永明小・中学校の校舎建て替えの現場を視察して、進捗状況を確認しました。

工事現場では、建物がないところに、階段だけが設置されていました。今後建物が階段の周りに出来ていきます。

現場視察の後に、現場事務所で、工事の工程等詳細にわたる説明を受けました。



階段だけが立っていました



常任委員会の活動報告

経済建設委員会

7月ヤマウラスティ古民家視察～古民家の集客の現状や今後の取り組みについて意見を交換。インバウンドが早急に望めないため新たな利用者開拓が必要と感じた。

白樺湖ホテル廃屋撤去工事現場視察～今後の公園整備等の施策確認や白樺湖周辺整備状況について説明を受ける。

8月下諏訪町議会合同で諏訪圏の工業についての勉強会～人手不足の深刻さを痛感。更に、国や県の補助金助成金の取得について、申請書の書き方など新たな支援策の必要性を認識。関係団体と話し合いの場を作る事にした。

9月高部・安国寺災害復旧状況の視察～新設される砂防堰堤、河川改修、復旧道路の現状報告を聞く。

東急リゾートタウン蓼科のバイオマスボイラー施設の視察



編集後記

7月、金沢小学校の6年生が社会科学習の一環で議会の学習と議員の活動を見学に来た。議会は閉会中であり実際の活動の様子を見学できなかったが、事務局から話を聞き、更に議場で学級委員会を開催し模擬議会を開催したという。臨場感ある「学級委員会」になったのだろう。今号ではその様子を特集した。

今は9月末、田圃は黄金色に輝き、収穫の秋を迎えている。私らは2019年4月の選挙で選出された議員だ。定例議会は残すところあと2回、私たちの議会活動が住民の福祉の向上に繋がっていると実感して頂けていることを願う。 伊藤正陽

みなさんも傍聴にお越しください

《傍聴をご希望の方は当日議会棟3階までお越しください》

12月定例会本会議予定

- 11月29日(火) 開会、提案説明、先議案件採決
- 12月6日(火) 議案質疑、委員会付託
- 12月8日(木) 一般質問
- 12月9日(金) 一般質問
- 12月12日(月) 一般質問
- 12月19日(月) 委員長報告、採決、閉会

ホームページから議会を見ることができます

本会議はビーナチャンネルとインターネット(▶QRコード)で生中継と録画をご覧いただけます。



● 議会広報部会 ●

- 部会長 望月克治
- 副部会長 木村かほり
- 部会員 伊藤正博、机 博文、伊藤 勝、伊藤正陽、伊藤玲子、野沢明夫

